

## 令和3年第4回加西市教育委員会会議録

- 1 開会日時 令和3年4月20日(火) 13時59分
- 2 閉会日時 同日 15時03分
- 3 開催場所 加西市役所 1F多目的ホール
- 4 出席者 教 育 長 民 輪 惠  
委 員 沼 澤 郁 美  
委 員 楠 田 初 美  
委 員 中 川 和 之  
委 員 深 田 英 世

5 上記出席者及び傍聴人を除き、会議に出席した者の氏名

教育部長	植 田 正 吾
教育委員会次長（こども園民営化担当）	
	高 倉 慧 喜
教育総務課長兼給食係長	伊 藤 勝
教育委員会課長（学校施設担当）兼施設係長	
	井 上 英 文
学校教育課長	安 富 重 則
こども未来課長	丸 山 常 基
生涯学習課長	北 島 悦 乃
総合教育センター所長	工 藤 憲 人
図書館長	藤 川 貴 博
教育総務課長補佐兼総務係長	松 田 ちあき

地方教育行政組織及び運営に関する法律第14条第3項に定める定足数に達していることを確認し、議事に移る。

6 付議事項

- 議案第14号 加西市立総合教育センター運営委員の委嘱について
- 議案第15号 加西市青少年補導委員の委嘱について
- 議案第16号 加西市社会教育委員の委嘱について
- 議案第17号 加西市学校給食運営審議会委員の委嘱について

## 議案第 18 号 加西市子どもいじめ問題対策審議会委員の委嘱について

### 7 議題となった動議を提出した者の氏名

なし

### 8 質問及び討議の内容

#### 議案第 14 号 加西市立総合教育センター運営委員の委嘱について

総合教育センター所長より説明する。加西市立総合教育センター条例施行規則第 3 条の規定により、加西市立総合教育センター運営委員に次の者を委嘱したいので、委員会の議決を求める。委嘱期間は令和 3 年 4 月 1 日から令和 4 年 3 月 31 日まで。市小中学校長会長、市青少年補導委員連絡協議会会長、市連合 P T A 会長、市連合婦人会会長、市地域福祉課長、市学校教育課長に委嘱するものである。

#### 教育委員からの質問及び回答

- ・総合教育センター運営委員というのは、何に定義づけられて、このようなメンバーになっているのか。昨年度の運営委員会でコミュニティスクールについての協議があった。コミュニティスクールを運営するに当たって、例えば地域のふるさと創造部会長や代表区長などのメンバーも、この中に入るのではないかと思ったが、どうなのか。これはどういう組織の人がここへ入ると決められているのか。コミュニティスクールの協議をされていたので、地域の方々も入っておかないといけないのか、どうなのかと思い、質問させていただいた。

(学校教育課長の回答) 昨年度の学校運営委員会へは、私が参加していたので、学校運営協議会の点に絞って私からご回答させていただきたい。本来はセンター運営に関わること、つまり青少年の補導や教職員の研修についての議論の場であるのだが、昨年度は、社会教育の分野で学校運営協議会立ち上げの設置要綱を作ろうということで、センターの方で持たれていた。設置要綱を吟味する場として、運営委員会の皆さんに入っていた。かねてから委員が言われているようなコミュニティスクールの運営あるいは立ち上げということになれば、組織は別になる。あくまで設置に関して各団体の主だった方々にご意見をいただきながら、定例教育委員会で規則について審議し議決していただいたという状況があるので、分けて考えていただければと思う。

- ・総合教育センターの運営に関するということだが、具体的には例えばどんなことを

協議されるのか。

(学校教育課長の回答) まず、学校教育の分野において、先ほども言ったようにセンターが行っている教職員研修の充実を図るため、どういった内容を取り込んだのか。例えば研修講座の中身について。それから、たくさん研修用の図書を買っているので、教職員に対する貸出しの図書の状況や内容について報告をし、ご指導をいただいたところである。併せて、不登校の子どもや適応教室の子どもに対して様々な取組をしており、そういった子どもたちに行っている直接的な指導の運営に関してご助言をいただいたりする。係が2つあるので、それぞれの係の担当している連合PTAや補導委員など各種団体の活動についての報告をしたり、補導委員の代表の方もいるので、実際の活動内容をお聞かせいただいたり、ご意見をいただいて次年度のよりよい運営へつなげていこうという会議である。

#### 議案第 15 号 加西市青少年補導委員の委嘱について

総合教育センター所長より説明する。加西市立総合教育センター条例施行規則第4条の規定により、加西市青少年補導委員に次の者を委嘱したいので、委員会の議決を求める。委嘱期間は令和3年4月1日から令和5年3月31日まで。各町からの推薦138名、北条、播磨農業高等学校各生徒指導担当2名、女性協力員10名を委嘱するものである。

#### 議案第 16 号 加西市社会教育委員の委嘱について

生涯学習課長より説明する。加西市社会教育委員に関する条例第2条及び第3条の規定により、加西市社会教育委員に次の者を委嘱したいので、委員会の議決を求める。社会教育委員は学識経験者、社会教育関係者、学校教育関係者の中から9名の方に委嘱しているが、年度が替わり、学校教育関係者の代表者が変更になったことに伴う委嘱である。小学校代表として加西市立宇仁小学校長、中学校代表として加西市立北条中学校長を新たな委員として委嘱したい。任期は前任者の残任期間である令和3年4月1日から令和3年7月21日まで。

#### 議案第 17 号 加西市学校給食運営審議会委員の委嘱について

教育総務課長より説明する。加西市学校給食センターの設置及び運営に関する条例第5条第3項の規定により、次の者に加西市学校給食運営審議会委員を委嘱したいので委員会の議決を求める。1号委員として、南部給食センターと北部給食センター、それぞれの施設を利用する小学校長2名、2号委員は中学校長1名、3号委員には加

西市医師会から1名、5号委員として加東健康福祉事務所長にそれぞれお願いするものである。4号委員はPTAの役員だが、まだ新しい役員は改定されていないので、例年どおり来月の定例会で委嘱をしたい。1号から5号までの委員の任期は、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの1年。

#### 議案第18号 加西市子どもいじめ問題対策審議会委員の委嘱について

総合教育センター所長より説明する。加西市子どもいじめ防止等に関する条例第13条の規定により、加西市子どもいじめ問題対策審議会委員を委嘱したいので、委員会の議決を求める。委嘱期間は令和3年4月1日から令和5年3月31日まで。学識経験者、弁護士、精神科医、臨床心理士を委嘱するものである。

### 8 議決事項

#### 議案第14号 加西市立総合教育センター運営委員の委嘱について

原案どおり可決

#### 議案第15号 加西市青少年補導委員の委嘱について

原案どおり可決

#### 議案第16号 加西市社会教育委員の委嘱について

原案どおり可決

#### 議案第17号 加西市学校給食運営審議会委員の委嘱について

原案どおり可決

#### 議案第18号 加西市子どもいじめ問題対策審議会委員の委嘱について

原案どおり可決

### 9 報告事項

## 教育長

前回、3月29日の定例委員会以後の報告をする。委員会終了後、4人の委員様方には善防こども園の視察をしていただいた。これについてももし何かあれば、また後ほど発言をお願いしたい。

3月31日、令和2年度の退職者辞令交付式が多目的ホールで行われた。その後、加古川の播磨東教育事務所で退職教職員感謝状贈呈式があり参加した。40年近く加西市の教育にご自分の人生をかけてくださった先生方であり、本当に感無量とお見受けした。

その後、4月1日には令和3年度の辞令交付式・教職員辞令伝達式があった。打って変わってこちらでは新しい職にお就きになった先生方であり、大変希望に満ちた感じがした。人事異動については、6階事務局の管理職では、部長、総務課長、生涯学習課長等が新しくなった。また、1階のこども未来課では、こども園民営化担当の次長、こども未来課課長が新しくなった。そして、教育センターの所長も新しくなった。新体制で一致団結して頑張りたいと思うので、皆様にはご協力をよろしくお願いしたい。

そして、4月2日は定例校長会に出席した。新任校長先生は8人で、うち2人の女性校長が今年度誕生した。また、校長の新任に準じ新任教頭も8人である。校長と教頭共に新しくなったという小中学校がほとんどで、辛うじて校長または教頭のみ留任という学校はほんの数校であり各学校現場は大変だと思う。しかしながら、思い切って校長先生方が自分らしい教育方針を表明して実行なさるチャンスでもあると思う。Society5.0を念頭におきながら、新任の校長先生たちには本当に頑張っていたいただきたいと切望している。

校長会の後、播磨東教育事務所の所長と副所長が新任のご挨拶にお見えになった。新任所長と副所長共に女性であった。大変活発で前向きな所長なので、今後いろいろとオープンにお話合いができるという感触を受けた。

5日には県立北条高等学校の校長先生と教頭先生が、新任のご挨拶にお見えになった。また、夕方には教職員組合との会合に出席した。教職員組合の幹部の方たちも新しくなっていた。何から何まで新しい感じの新年度である。

6日は公立こども園の園長会に出席した。こども園の園長先生方が日々抱えている日常の課題がリアルに伝わってきた。教育委員会のこども未来課長も新しくなったので、園長先生方の抱えているそうした課題や現実に取り添って丁寧に対応していきたいと思う。

7日は、新任の教育部長と教育センター所長と共に播磨東教育事務所長へご挨拶に参上した。このときに話題になったこととして、文科省が力を入れている先端教育の1つでSTEAM教育の推進がある。高校では既に実践が始まっている。この辺りでは加古川東高校がモデル校になり前向きに行っている。新所長から県教委はSTEAM教育を

できるだけ早く小中学校でも実施することを望んでいるという意向を確認した。

私が以前から言っている異年齢教育はこの時代に大変大事なことだと思うが、そのシステムを使って STEAM が導入できれば、加西市の教育も特色が出ると思っている。STEAM とは、S がサイエンス、T がテクノロジー、E はイングリッシュ及びエンジニアリング、国ではエンジニアリングと言っているが、兵庫県ではイングリッシュを含めている。A はアーツ、コンピューターアーツなども含まれる。そして、M はマセマティックス、算数や数学である。それらの頭文字を取ったものが STEAM 教育である。私は加西市の教育には大変重要な切り口だと考えている。先ほども申し上げたように異年齢教育を取り入れながら、加西市の教育の大きな柱として STEAM 教育を導入できないかということで、学校教育課が一生懸命研究を始めている。また、途中経過等はお知らせしたい。

8日の夜は、教育委員と学校の計画訪問に関する協議を行った。

9日は南部学校給食センターに行き、献立検討会に出席させていただいた。「教育都市加西」を標榜する上で、地産地消の給食というのは大変重要な課題である。この日の会議には農政課からも出席をお願いした。ちなみに本年度より教育委員会の総務課長は給食担当係長を兼務している。そして、会計年度任用職員ではあるが、退職された校長先生に現場の給食担当窓口になっていただくということも実現した。加西産食材の確保はもちろんのこととして、給食費の公会計化など給食に関するこれまでの懸案はたくさんあると思うが、徐々に解決の方向に向かうと思う。教育委員会としても現実をきちんと押さえ頑張っていきたい。地道な作業ではあるが、「加西市は子どもの教育の向上に常に努力している。だから、加西市で子育てしたい」と思っていたくために欠かせない施策の1つと思っているので、地産地消の給食を柱とした食育を頑張っていきたい。

12日には、大村町の加西コンクリート様から加西特別支援学校で使ってほしいとご寄附をいただいた。「コロナ禍にあって何とか黒字経営ができたので、子どもたちの教育に役立ててほしい」というお言葉をいただき、本当に頭が下がる思いがした。

13日の午前中から新任管理職である校長や教頭との個別面談が始まった。2週にわたり今週も随時実施している。各学校の新任校長や教頭先生方の一人一人と直接会って、思いや方針などをきちんと聞き、加西市の教育方針を固めていきたい。

14日には、定例教頭会に出席した。ずっと申し上げているように多くは新任の教頭先生なので、「ある意味フレッシュな頭で前例にとらわれずに進んでいただきたい。保護者や地域の方々とのコミュニケーションは大変大事ではあるが、一方で、当然と思ってきた固定概念を変えていくことも大事なことである。最も重要なのは新任の先生方を含めてご自身の教育方針であり、実行力である」というお話をさせていただいた。

15日は神戸の兵庫県公館において、県下41市町の教育長、県教育委員会幹部職員、それから各教育事務所長等が参加して、兵庫県教育長会議が行われた。県の重点対策

として、まず、ICTの積極的な活用が挙げられた。あとは学校、家庭、地域の連携。それと子どもの心のケアということも挙げられた。教育活動における留意事項としては危機管理、いじめへの対応、教職員の非違行為の防止、そして、大きなテーマとして働き方改革があった。実はその中でも先ほどの STEAM 教育というキーワードが改めて出ていた。あと、コロナ対策として県の教育長が言われたのは、十分な感染症対策を講じて、教育活動はやめない、止めないということ。家庭がとても大事であるので、家族に濃厚接触者が出た場合は登校不可としてもらいたいと明言しておられた。

16日は代表区長会に出席。19日には加西市コロナ対策本部会議が開催され出席した。

#### 教育総務課長

学校給食費の公会計化について報告する。これまでも定例教育委員会や総合教育会議、市議会で要望のあった学校給食費の公会計化について、今年度から着手していきたいと考えている。計画的に進めないといけないので、導入時期を定め、約束あるいはコミットメントすることで、関係部局で今後、詰めていきたい。まず、こういう方向でやっていくとお示した上で進めていきたいと考えている。

そもそも公会計化というのは、給食費の徴収管理を学校やPTAではなく、加西市が自らの業務として行う計画である。給食材料の購入等についても加西市の財政会計ルールに基づき処理するので、発注方法や事務処理も新たな対応が必要となってくる。公会計により見込まれる効果は保護者の利便性の向上、教員の業務負担の軽減、徴収管理業務の効率化と透明性の向上が挙げられる。課題となるのは予算の確保、事務処理や徴収等の人的体制の整備、食材の発注方法と規則等の整備、そして、保護者への周知となる。今後それらを計画的に進めていきたいと考えている。

#### 教育委員からの質問及び教育総務課長の回答

- ・自分もいろいろと意見を言ってきたことを今こここまでこぎ着けていただき、感謝している。とても期待している。工程表が出来次第、分かった時点で教えていただきたい。よろしく願います。

(回答) しっかりと取り組んでいきたい。また、ぜひ、ご報告させていただく。

- ・教職員の業務軽減や保護者の利便性を考え、学校給食の公会計化についてこのように予定立てていただきありがたく思う。まず、導入の予定時期については、私が読んだ学校給食費徴収管理に関するガイドラインの文でも、2年ぐらいかかるであろうと書いてあった。導入は年度初めで、令和5年4月ということだが、例えば早く進んだ場合、年度初めにこだわらずに、これよりも前から始められるのか。そのところを教えていただけませんか。

(回答) 私どもも早くできれば前倒しを考えたいと思っている。ただ、様々な関係部局等の協議もあり、こちらでスケジュールを決められないところもあるので、あくまでも4月の予定であるが、やり方や方法によっては前倒しの可能性も含めて取り組んでいきたい。

・年度初めにこだわらず、準備が整った時点で開始すると考えてよろしいのか。

(回答) これから計画を立てるので、ご意見を賜りつつ検討していきたい。

・このガイドラインの中には、今後の課題として私会計時の債権継承なども書いてあった。加西市としては私会計時の債権というのは今のところ全く問題ないのか。

(回答) 私会計時の債権、すなわち給食費の滞納についてはゼロと伺っているので、継承する債権はないと把握している。

・今後の課題5番の保護者への周知については、今からのカリキュラムによると思うが、大体どのぐらいの時期にどのような仕方で考えているのか。私どもは令和5年から行う予定ですというのは早い時期で言われるのか。

(回答) いろいろな方法が考えられる。ひとつとして、税金のように口座引き落としやコンビニ払いで徴収ができるようにした場合は、金融機関との調整等があるので、そうしたスケジュールが見えた段階のできるだけ早い時期に、保護者に給食費の集め方が変わりますよとお伝えする。例えば4月を導入時期とすると、少なくとも秋頃には周知をしていきたい。ただ、公会計化に向けて準備を行っていることは、今もこうしてお示ししてるように、今の段階から状況に応じて、早めに情報提示していきたいと思っている。

#### 学校教育課長

初めに、会議資料には報告事項として挙げていないが、4月以降の新型コロナウイルス感染症に係る対応についてご報告する。

4月に入りさらなる感染拡大が見られており、円滑な学校運営を持続可能とするため保護者の皆さんへ感染拡大に留意していただくよう繰り返しお願いをしている。その中で先週の土、日曜日に予定していた参観日、学級懇談会、PTA総会を中止した。昨年度の反省を踏まえ、学校としては何としても保護者と対面で懇談する場を持つよう切望していたが、通常の学校教育活動を維持するためには、多くの保護者出入りのある行事は中止する方向で市教委から学校へやむなく通知をした。

併せて、日曜日には中学校の親善大会があった。通常の学校教育活動の一環として公式戦で開催をした。保護者等は楽しみにしておられたと思うが、無観客での開催とし子どもたちが部活動の成果を発揮する場を確保した次第である。



そのほかの当面の学校行事のうち、例えば自然学校については、今年度で一番早い学校グループは5月17日の開催予定であった。近隣で一番早い開催であり、近隣市町もまだ決めていない中で1カ月前に実施の方向を決定する必要があった。その上で県とやりとりをしながら、先週の段階で4泊5日の通常実施は困難であると判断した。昨年度と同様に2学期の9月末以降に1泊2日でのメインの活動と学校を中心とした1日ずつの活動を3日間実施する方向で行う。これもできるだけやらせてやりたいという思いから、規模は縮小するが、開催したいという方向で行うと各学校に言っている。

中学校1年生の宿泊訓練については、学校のほうで早々と中止あるいは延期として進めていただいている。昨年度から再三申し上げているが、その学年でしか学べないこと、体験できないことを何としても実施していくことを最優先にして学校と共に判断をしていきたいと思っている。今後とも見守っていただき、ご指導をよろしくお願いしたい。

続いて、会議資料にある報告をする。まず、令和3年度の学校組織について報告する。

各校の校長と教頭の学校組織一覧を掲載している。教育長の報告にもあったが、本年度管理職の異動として、多くの管理職が新規採用となっている。校長は新規採用が9名、配置換は4名。教頭は新規採用が8名、配置換が6名となっている。よく話題にもなる女性登用については、5年ぶりに女性校長が登用され、同時に2名の採用となっている。教頭も新規で1名採用があり、加西市では校長と教頭を合わせて管理職で5名の女性登用となり、これまでで過去最多の人数となっている。真ん中辺りに記載のある主幹教諭の昇任は8名、配置換は3名。こちらの女性登用について言えば25名のうち14名であり、多くの女性が学校運営の中心を担っている。養護教諭や事務職員もほとんどが女性である。ということから、男性と女性それぞれの視点を生かしながら、円滑で発展的な学校運営を行うようにこちらとも連携しながら話しているところである。養護教諭と事務職員の括弧書きは、臨時講師として育休や病休の先生方の代わりに入っている先生やあるいは欠員補充であるので、付け加えて説明しておく。

続いて、別添資料の小中特別支援学校児童生徒等について報告する。4月9日現在、小学校11校の児童数は1,920名で、昨年度より10名プラスとなっている。中学校4校の生徒数は960名で、32名減となっている。特別支援学校の児童生徒数は45名で、2名増となっている。新年度の新生入生については、小学校1年生が301名で、昨年度比52名減になる。中学校1年生は288名で、51名減になる。小学校は全体的に10名増となっているが、先ほど申し上げたように1年生が52名減で、6学年のうち一番少ない人数になった。来年度、再来年度では新1年生入学児童数はやや増加が見込まれている。中学校1年生は302名を切った。第3学年の一番少ない人数になるが、こちらも来年度と再来年度には、やや人数の増が見込まれている。

#### こども未来課長

今年度は公立5園、私立6園、こどもの広場2か所、療育事業等を実施している。そのうちご存じのように北条東こども園を民営化する予定で現在進めている。公立園では、賀茂幼児園の園長が今年度新任で上がっている。それから、私立園では、北条こども園が新しく建設され、4月1日より認定こども園として運営されている。先ほどのコロナ対策については、学童保育園は参観日への対応として休校になったので、月曜日の実施ということで代替をしている。以上で報告とさせていただきます。

#### 生涯学習課長

生涯学習課から別添資料でお配りした令和3年度「公民館への誘い」と「土曜日をもっと楽しもう」という小学生向け土曜日のプログラムについて報告する。毎年4月広報に合わせて「公民館への誘い」は全戸配布をしている。公民館の今年度の主催講座、登録グループの紹介や公民館高齢者学級の紹介等を記載している。もう1枚の小学生向け土曜日のプログラムの分は、3月春休みの前までに現小学校2年から小学校6年生の全児童へ配布した。新1年生については入学式後に配布している。

今年度の公民館の講座受付はそれぞれ4月9日から開始した。初日は各館ともたくさんの方からお申込みをいただいたと報告を受けている。電話やメールに加えて窓口での申込みもあったが、各館長が配慮されてマスク着用や申込者が密にならないよう間隔を空けて並ぶなどの対応をしている。今後の講座実施については、コロナの感染拡大状況を受け、国と県の動向、市の対策本部の方針を踏まえ、昨年度に引き続き感染防止対策、つまりマスク着用、手指の消毒、換気等を講じながら、できるだけ実施していく予定にしている。今後の状況によっては、中止や内容の変更あるいは実施回数の変更等もあり得るが、各館長と協議の上それぞれ講座の内容により対応をしていきたいと考えている。

#### 図書館長

図書館からは令和3年度こどもの読書週間イベントの開催について報告する。別添資料として読書週間のチラシを配付している。こども読書週間は、子どもの読書活動の推進に関する法律により定められたこども読書の日である4月23日を開始とした5月12日までの20日間となる。今年は4月23日金曜日から5月12日水曜日となり、今年の第63回こども読書週間の標語は「いっしょによもう、いっぱいよもう」となっている。期間中、加西市立図書館では先ほどのチラシに記載しているように、おたのしみ本の福袋やキッズクラフト、読み聞かせなどの多彩な子ども向けイベントを開催する予定にしている。

## 1 0 協議事項

なし

## 1 1 教育委員の提案

なし

## 1 2 今後の予定について

- ・令和3年第5回定例教育委員会 5月26日(水) 14:00~1F 多目的ホール
- ・令和3年第6回定例教育委員会 6月22日(火) 14:00~1F 多目的ホール

## 1 3 その他

- ・前回の定例教育委員会では、自転車道に関して前向きにいろいろと調べていただきありがたく思っている。教育委員会の予算で即対応できるものではないのだろうが、前向きに検討していただけるということで、よろしくお願ひしたい。自転車道については、先日走ってみると明楽寺から河内の一番初めの信号までの区間は全く街灯がない。子どもたちが高校から帰ってきているのを見ると、今だと日が長い、冬場は大変だろうと思った。これもまた教育委員会の予算から即ということではないが、今は物騒な時代だし、子どもたちにも危険があると思うので、調べて前向きに対処していただけたらと思う。他にも街灯がないところはたくさんあると思う。「加西は街灯のないところが多くて、暗いな」とよく聞く。何とかならないものかと思うので、調べていただきたい。よろしくお願ひしたい。
- ・私が言うのは少し変かも分からないが、区町会や代表区長会では、一応危機管理ということで、今年も300基余りをつけていただくということだ。昔は主に町内だったが、今言われたような町と町の間などに広げている。九会の場合には、小野工業や小野高校へ行く高校生がブドウ園の中を通る。そこは電柱がなかったのだが、とにかく高校生が危ないということで、支柱を立てたという。小中学生の道の整備がほぼ終わりかけて、今度は高校生を対象につけたいということで、多分区長会や各町の区長さんから要望を上げて、同時に教育委員会からも声を上げていただけたら、実現の方向に向かうのかなと思う。ただ、市の境の向こうは分からないが。
- ・明楽寺から河内の一番初めの信号のところまで、全く街灯がなかったので、「これは大変だな」と思った。いつも「地域から声を上げてください」と言われるのもわかるのだが、教育委員会からも考えていただきたい。よろしくお願ひする。
- ・案外、市道よりも県道のほうが街灯はついてない可能性がある。そこも県道である。

それはみんなで声を上げていただくことだ。

- ・賀茂の方でも主に通学路で、去年、結構暗いところはつけていただけたので、区長会とPTAから声を上げる方が早いかもしれない。300基だから、多分つけていただけるかと思う。  
(教育長の回答) 今、市独自では街灯をつけようとかなり動いていると思う。ただ、県道の場合は県の管轄なのでどうなるのか、私もつかんでいない。また、きちんと調べてご報告するようにしたい。教育センター所長にお願いしたい。
- ・実は去年に九会では、三木穴栗線でフラワーセンターから加西中の前などに結構つけていただけたので、多分、市、県道は関係ないと思う。
- ・1点目に、4月で年度が替わり、メンバーもかなり代わられたということで、また、よろしくをお願いしたい。

2点目に、先月の教育委員会の後、教育長も言われたが無量会の善防こども園を訪問した。訪問は1時間半ぐらいで、最初は園の施設や子どもたちの様子を見て、あとは部屋を変えて質疑応答を行った。お世話になった。園児は5歳児までで、0歳と1歳児は同じ年齢の子どもに分かれているが、3歳から5歳までは異年齢集団で十数名のグループになっていた。その中で年齢が上の子どもたちが、自分たちも小さいときに面倒を見てもらったからだと思うが、とにかく小さい子の面倒を見るというように異年齢がうまく回っているという感じがした。

部屋の中には、こちらにはバットがあり運動をするコーナーとか、料理のままごとや積み木ができるところなどいろいろなコーナーがあり、子どもたちが自分から進んで、こんなことやりたいなというところを伸ばしている。ただ、同じ場所ばかりにいるときは、先生方が「いや、あっちもおもしろいよ」と声かけを上手にしながら、子どもたちの意欲をかき立てていて、それとプラスして異年齢という中で本当に上手な取組をされていると思った。

もう1つに、協議の中で、園長先生や主幹教諭の先生から働き方改革についてのお話があった。保育士さんが少ない中で、どんなふうにされているのか、過剰業務になっていないかという話もしたが、そこはシフトをきちんと組んでいるという。朝7時から早朝保育を受け、12時間なので、子どもが帰るのが夜7時、そのシフトを分けながらきちんと対応されているので、そんなに過剰な勤務にはなっていないと話されていた。主幹教諭の先生は以前勤められていて、子育てで一旦辞めたという。でも、「また来ていいよ」と園長先生から誘われた。そういう温かい雰囲気のある職場だなと感じ、その温かさが子どもたちにも伝わっているのだろうと、とてもいい勉強をさせていただいた。

無量会については、今度令和4年から北条東こども園でもお世話になるので、よろしくお願ひしますと伝えた。その中で、今の北条東のよさもあるし、善防のよさをそのまま持ってくるのではなく、それぞれのよさを生かしながら1年をかけてベストな方法で行っていきたいと言われていた。ただ一方で、一番の問題は保育士さんの数が少ない、なかなか人手が集まらないという悩みがあるとされていた。本当に市内にいろいろな園があるが、私立のいいところを取り入れながら、公立園との連携を図っていったらと思う。

子どもさんが善防だった委員が懐かしそうに話されていた。園長先生も覚えておられて、そうしたきちんとした人間関係でつながっているという印象を受けた。いい視察をさせていただいたと思う。感謝を述べたい。

- もう1点別件だが、先月に危険箇所を調べていただいたが、実は4月に鶉野飛行場の交差点で学生の接触事故があった。そんなに大したことではなかったが、危ないということで教育センター所長が早速動いていただき、校長先生は本当にありがたかったとお礼を言われていた。子どもたちの安全は本当にとっても大事なことになるので、引き続き警察などにも働きかけをしていただいで、感謝を述べていた。これについては何より安全第一で行っていただきたい。

(教育長の回答) 教育委員から危ない箇所のレポートを出してくださいと言われて、レポートを作成したことは、結構いいことであつたと私は思う。そういうものがあつた上で、今回うまく対応できたのではないかと思う。やはり子どもたちに何かあつてはいけないので、全力できちんと対応したいと思っている。

この会議録は、事務局員が作成したものであるが、真正であることを認め、ここに署名する。

令和3年4月20日

出席者

(出席者署名)